

平成28年度県立茨城東高等学校自己評価表

目指す学校像	「夢・希望・自己実現」のテーマの基に、 (1)新たな夢・目標を常に持ち続け、自己の可能性を伸ばす。 (2)基本的生活習慣を確立し、基礎学力を向上させ、進路希望の実現を図る。 (3)気力・体力・忍耐力を養い、社会に必要とされる人間の育成を図る。		
昨年度の成果と課題	重点項目	重点目標	達成状況
<p>1 多くの生徒は規範意識の高揚が図れており基本的生活習慣が確立している。昨年度は遅刻生徒が前年比約40%減であった。しかし、一部の生徒に規範意識の低い生徒が見られるので、遅刻指導の徹底を図るとともに、学校が「心の居場所」となるよう、心の教育の充実力を入れる。</p> <p>2 少人数授業の実施、授業の工夫改善、特に電子黒板の利活用により、成績不振者は減少した。しかし、家庭学習を行わない生徒が多いので、学習課題を含め、学習習慣を定着させるように工夫する。また、昨年10月から運用が始まったタブレット型パソコンと電子黒板の活用により、分かる授業を目指し、教材研究や相互授業参観等とおして基礎学力の一層の向上を図る。</p> <p>3 昨年度、学校紹介による就職内定率は100%であった。今後も体験学習やインターシップ、デュアルシステムの体験等とおして職業観・勤労観を育成し、早期から進路意識の高揚を図る。 また、短大・大学進学者を増やし、国立大学合格者を輩出する。</p> <p>4 部活動加入者が全体の40%強と少ないが上位大会出場に向け毎日練習に励んでいる。そこで、部活動加入者を50%台に伸ばし、常時県大会へ出場できるように指導者の研修機会を増やす。 また、部活動の活性化を図るため、学力検査における「特色選抜」を積極的に活用する。</p>	基本的生活習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の自己管理能力を高める指導を強化する。特に、ア 欠席をしない、イ 身だしなみ、ウ 時間を守る の徹底を図る。 礼儀や言葉遣いなどの基本的なマナーを身に付けさせる。 授業を大切にし、授業に臨む心構えをきちんと付けさせる。 公共マナー・交通マナーの啓発に努める。(自転車の乗り方、スクールバスの利用法) 	B
	基礎学力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 基礎学力の向上及び定着を図る。(20分授業である学校設定科目「ベーシクトライ」の効果的な実施、電子黒板及びタブレット型パソコンの上手な活用、国語・数学・英語の習熟度別少人数授業の実施) 授業に取り組む意欲を高めるとともに、家庭学習の習慣化を促す。 言語活動充実のために、授業形態(教材・指導法)の工夫改善を積極的に行う。そのためには、相互授業参観や校内研修等を実施し、教員相互の資質・指導力の向上に努める。 	B
	生徒指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> 「ダメなものダメ」という厳しい指導とともに、寄り添う指導を加えることにより、生徒一人一人の道徳観や倫理観を育てる。 チャイムスタートによる1分を大切に授業を実践する。(チャイム着席指導の徹底) 	B
	進路希望の実現	<ul style="list-style-type: none"> 3か年を見通した進路指導計画を作成し、進路指導の充実を図るとともに、各種資格取得に向けた取組を支援する。(卒業までに一人ひとつ以上の資格取得を目指す。) 「キャリアデザイン」をはじめ、あらゆる機会を捉えてキャリア教育の充実を図り、望ましい職業観・勤労観を育成する。 模擬面接指導、各種模擬試験、課外授業等を定期的に行い、就職指導及び大学等への進学指導をより一層充実させる。 進路に関する情報を学校全体で共有し、生徒や保護者には正確かつ速やかに伝える。 	B
	部活動・特別活動の活性化	<ul style="list-style-type: none"> 部活動への興味・関心を高め、積極的に部活動に参加させる。 各種常任委員会の活性化を図る。(学校への帰属意識の高揚、高い目標での自己実現) 生徒会役員の育成。(自主的・自発的な活動を目指す。) 校内外での体験的な活動を通じて、他者への理解を深め、一人一人の心の成長を図る。 	B
	保護者や地域から信頼される学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> 保護者との連絡を密にし、学校の教育方針への理解と協力を得ながら、指導にあたる。 地域の信頼を得るため、学校ホームページの更新を定期的に行い、学校の教育活動を積極的にPRする。 学校・家庭・地域社会が相互に連携協力して、開かれた学校づくりを推進する。 事件・事故の防止に努め、安全・安心な学校づくりを推進する。 	B
	アクティブスクールへの理解の深化	<ul style="list-style-type: none"> 中学校や中学生・保護者、地域等への情報提供や広報活動を積極的に実施し、アクティブスクールの趣旨や実績等を周知する。(学校案内の作成、学校説明会の開催) 本校の特色を広く外部に周知することにより、本校への志願者の増加を目指す。 	B

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価		次年度(学期)への 主な課題
国語	授業を受ける態度の育成	・始業前の学習準備を徹底させ、服装・態度を見直す指導をした上で始業する。	B	B	・年次や進路と連携をとり、進学課外や小論文の指導の機会を増やせたら良い。
	漢字力・読解力を中心とした基礎学力の向上	・ベーシクトライと連動し、漢字練習の習慣化を図り、常用漢字を習得させる。 ・授業時の「音読」や板書の「書写」、電子黒板の効果的な利用を通し、適正な言感覚を養うことで日常での「読み」「書き」を習慣化させる。 ・教科書の音読テストやノート提出等を通して、その達成度を随時確認する。	A		
	進学・就職試験に対応する実践力の育成	・進学試験に向けて積極的に課外授業に参加させ、過去問題の演習や面接・小論文指導を通して、進路実現に必要な実践力を身につけさせる。 ・自分の思いを言葉で伝えるための自己表現力を高め、「社会」で通用する力を養い、生徒自身が自信を持てるよう指導する。	B		
地歴・公民	授業を受ける態度の育成	・話を聞く態度を身につけ、社会人として通用する力を養う。	B	B	・学習態度にメリハリをつけさせたい。 ・興味・関心をひけるよう授業内容の工夫・精選をしたい。 ・就職・センター対策の充実を図る。
	基礎学力の定着	・基礎学力の定着をはかり、生徒の進路を実現できるようにする。また、生徒に身近な学習内容を吟味し、興味・関心をひくような授業を展開する。	B		
	進路実現に対する意識の向上	・年次と連携し、授業や課外などで就職試験やセンター試験の過去問題を実施することにより、進路実現の意識を高め、就職試験やセンター試験に対応できる力を養う。	B		
数学	授業を受ける態度の育成	・ノートを取る、授業者の説明を聞くなどの、正しく授業を受ける態度を養う。	B	B	・義務教育範囲の学習内容の定着を目指す。 ・自ら学ぶ姿勢を育成する。 ・進学・就職試験に対する意識を高めるため課外や検定を実施していく。
	基礎学力の定着と、定期試験の得点の向上	・反復学習で授業内容の理解を深め、定期試験の平均得点が60点台になるように得点力を向上させる。成績下位者に対して放課後課外を実施し、欠点保有者を減らす。	B		
	進学・就職試験に対する意識の向上	・授業や課外で、過去の就職試験問題やセンター試験等の過去問題を利用して、生徒の進路への意識を高め、進路希望を実現する能力を向上させる。	B		
理科	授業を受ける態度の育成	・学習の用意を整え、ノートを取る、話をしっかり聞くなど、正しく授業を受ける態度を養う。	B	B	・ICT活用の充実に努める。 ・生徒の学習内容定着に向けて創意工夫を行う。 ・学校設定科目「潤沼と自然」の教科内の共通理解を図るとともに、学校内及び地域との連携をより充実させ、さらなる発展に努める。
	分かる喜びを実感する授業の展開	・実験・演習を取り入れることにより、生徒の興味・関心を引き出し、科学の基本的な概念や原理・法則を理解できるようにする。 ・電子黒板を活用し、デジタル教科書やデジタル資料を用いて、授業の中で実験や観察と同様の視覚的な刺激を与え、生徒の興味・関心・意欲を高める。 ・授業展開を工夫し、生徒が主体的に授業に参加できるようにする。	B		
	日常生活の中での科学事象への気付き	・新聞やテレビ等で取り上げられた話題を授業に取り入れ、身の回りで起こる現象等に興味を持たせるとともに、豊かな科学的素養を養わせる。 ・電子黒板を活用し、日常生活の中での科学事象を取り上げ共有するとともに、多角的な視点からの考え方を知ることによって、科学的素養の向上を目指す。 ・また、「ナチュラサイエンス」や「潤沼と自然」といった学校設定科目の中で、地域との関わりを深めながら、多くの自然に触れ、科学に対する興味・関心、意欲を持つことができるようにする。	A		
保健体育	規範意識の高揚と基本的生活習慣の確立	・チャイムスタートの徹底。体育時の服装の徹底。 ・授業を通してあいさつ・礼儀等を身につけさせ、基本的な生活習慣を確立させる。 ・集団での行動や競技におけるルールを学び、公正・協力・責任などの態度を育てる。	A	B	・集合・整列・整頓の徹底を継続して行い、準備体操等で生徒が主体的に号令をかけられる授業を行う。

	心身共に健全な発達と生涯にわたる豊かなスポーツライフの基礎を培うことによるよりよい人間形成	<ul style="list-style-type: none"> 健康安全の大切さを認識し、自らの健康を適切に管理することを理解させる。 運動することに興味を持ち、体力を高めるための運動に継続的に取り組み、個に応じた内容基礎体力の向上と実践力を身に付けさせる。また、体力テストの値を向上させる。 	B		<ul style="list-style-type: none"> 個人で行うスポーツだけでなく、サッカーなどの集団で行うスポーツに積極的に参加できる雰囲気作りに努める。
	興味・関心を高める授業づくり	<ul style="list-style-type: none"> 意欲の乏しい生徒に対し、運動の技能を高めるとともに、運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにする。 	B		
芸術	授業を受ける態度の育成	<ul style="list-style-type: none"> 教室移動を迅速に行い、チャイムスタートができるよう指導する。 歌う、楽器を奏でる、静かに鑑賞ができるように取り組ませる。(音楽) 授業開始までに学習に必要な用具用材を準備し、着席する習慣を身に付ける。(書道) 表現及び鑑賞の活動をとおし、育成する資質や能力と学習内容との関係を明確にした授業作りを目指す。(美術) 	A	B	<ul style="list-style-type: none"> 主体的に取り組めるよう教材の精選をする。(音楽) 他生徒の個性を尊重する心を養わせる雰囲気作りを図る。(音楽) 言語表現を意識した授業展開を検討する。(書道) 鑑賞(古典作品・生徒作品)の学習をとおし、他者を受け入れる心を養うような授業作りをする。(書道)
	幅広い活動をとおし、芸術を愛好する心情の育成	<ul style="list-style-type: none"> 各自において、学習活動の目標を明確に示し、それぞれの特徴(歌唱・楽器/古典作品・用具用材)を捉え、主体的に表現する力を身に付けるための基礎基本を理解させる。 鑑賞をとおし、芸術への理解を深めるとともに、芸術の豊かさを味わうことができるようにする。 	B		
	創造的な活動をとおし、個性豊かな表現力の伸長	<ul style="list-style-type: none"> 生徒一人一人の表現力を伸ばすとともに、作品の製作や表現活動をとおし、自己の可能性や表現の楽しさを理解させる。また他の生徒の個性を尊重する心を養う。 	B		
外国語	授業を受ける態度の育成	<ul style="list-style-type: none"> 教科書・辞書・ノート等の忘れ物がないように指導し、制服を整え落ち着いて授業を受ける態度を身につける。 チャイム着席・チャイムスタートの指導を徹底する。 	A	B	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の実態に合った教材・学習形態・指導法の工夫改善を行う。英語が苦手な生徒でも取り組めるような言語活動を取り入れた授業を展開する。 資格取得に意欲的に取り組ませる。 学習意欲の向上に努める。電子黒板、タブレット、デジタル教材を活用してわかりやすい授業、楽しい授業を展開する。
	英語の学習意欲の向上	<ul style="list-style-type: none"> パフォーマンステストの導入やグループ活動等の学習形態を工夫し、意欲的に取り組むよう指導を行う。 デジタル教材等を活用し、電子黒板やその他の教具を活用した魅力的な授業を展開する。 	B		
	基礎学力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 少人数授業の利点を最大限に生かし、反復演習で基本的な語彙と文法知識の定着を図る。 ベーシックライをとおし基礎学力の向上を図る。 	A		
	進路を意識した学習の充実	<ul style="list-style-type: none"> 実用英語検定試験や全商英語検定試験の受験指導を積極的に行う。より多くの生徒が目標の受験級に合格できるよう、課外指導や事前指導を行う。 就職希望者・進学希望者に対して、授業内に就職試験・入学試験等の過去問題を取り入れ、進路実現に向けて必要な英語の力を身につけさせる。 	B		
家庭	授業を受ける態度の育成	<ul style="list-style-type: none"> 学習に必要な教材の準備をさせる。また、実習においては服装をきちんとさせ、衛生面の意識を向上させる。 	A	B	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的な技能・技術の定着のための実習の充実を図り、日常生活に活用できる力を身に付けさせたい。 生活設計を含めた消費者教育に引き続き力を入れていきたい。
	自立できる力の育成	<ul style="list-style-type: none"> 食料域では、栄養や調理の理論、実習を通して自立できる力を身につけさせる。 衣領域では、被服の材料やその管理について学習し、自立できる力を身につけさせる。 クレジットや悪質商法の学習を通して、将来賢い消費者として生きる知識を身につけさせる。 	A		
	健全な家庭生活観の育成	<ul style="list-style-type: none"> 食領域では、具体的に献立作成や調理実習を通して、健全な食生活の定着を図る。 衣領域では、被服管理を通して清潔な衣生活の定着を図る。 家庭・家族の学習を通して、健全な家庭生活のイメージを高める。 	B		
商業	進路意識を高め、社会性の育成	<ul style="list-style-type: none"> ビジネス基礎において、ビジネスに関する知識を幅広く取り扱い、自らが社会の一員として働くイメージを持たせ、進路意識を高める指導を行う。 	B	A	<ul style="list-style-type: none"> 検定試験の受験機会を増やし、受験を積極的に奨励

		<ul style="list-style-type: none"> ・実習を多く取り入れて、自らの思考やアイデアを形として表現できる力を身に付けさせる。 ・商業の諸科目を通して、企業が順守すべき法令や個人情報の大切さを指導して、節度ある言動の取れる社会人の育成を目指す。 			<p>することは出来た。さらに合格者が出せるように、指導に工夫をしながら進めていきたい。</p>
	資格取得の奨励	・簿記検定・情報処理検定・電卓検定などの取得を奨励し、より多くの合格を目指す。	A		
情報	情報モラルの育成	・学習を通して、情報社会の中で守るべきルール(法律やマナーなど)を身に付けさせる。	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・各種情報端末の利用について継続的に指導が必要である。 ・多くの生徒が資格取得できるようにしていきたい。
	情報活用能力の育成	・コンピュータの基礎的・基本的な操作技術の習得を目指す。年4回ある検定試験を積極的に受験させ、資格取得を目指す。	B		
教務	授業時間の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・授業変更・振替が確実に実行されるようにし、授業時間の確保に努める。 ・「チャイム開始」「チャイム終了」を厳守し、1分を大切に授業を実践する。 ・学校行事等が特定の曜日・時間に偏らないようにし、教科・科目の授業時数のバランスと授業時間の確保を図る。 	B	A	<ul style="list-style-type: none"> ・年間行事計画の見直しを図り、授業時間の確保を目指す。 ・電子黒板とタブレットPCの利活用を図る。 ・シラバスの内容を充実させる。 ・積極的な広報活動を展開する。 ・校内規程と教育課程を継続的に検討する。
	特色ある教育課程の編成	<ul style="list-style-type: none"> ・本校の現状と将来像を見据えて、多様な進路希望の実現を図る教育課程を研究する。 ・年間行事の計画に基づいて円滑に展開されるよう、各部・各学年との連携を密にする。 	A		
	ベーシックトライの円滑な実施	<ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板を活用したベーシックトライの教材を研究し、一層の基礎学力の向上を目指す。 ・電子黒板を用いた教授法の研究を推進し、知識の定着を図る取り組みを推進する。 	A		
	生徒の実態に応じた創意ある指導計画及び指導法の研究	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の積極的な公開を全教科で実施し、学習指導の質的向上を目指した校内研修を行う。 ・シラバスを早期に作成し、編集・発行に努める。 	B		
	開かれた学校を目指し、地域への情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・学校案内パンフレットやホームページの内容を充実し、中学生・保護者・地域等への広報活動を充実する。ホームページの更新は一月に4回以上を目指す。 ・学校説明会を長期休業中に年間2回及び学校公開を11月に実施し、中学生・保護者・地域住民が本校を深く理解する機会を設定する。 	A		
進路指導	生徒の進路決定支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・各種ガイダンスや、インターンシップ、デュアルシステムの実践を通して、早い段階から計画的に、生徒が望ましい職業観・勤労観を育成できるようにする。 ・進路指導部主体で生徒の希望に添った課外を企画・実践し、定着させる。 ・企業訪問を計画的・組織的に行い、求人の確保を図る。 ・内定の辞退、早期離職を防ぐため、生徒との進路相談を充実させる。 	A	B	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年より「つながりのある」進路指導をテーマにしてきた。各年次の「核」になる部分を進路主導ですすめることができるようになってきたが、進路行事の意義・目的を明確化し、より効果的でつながりのある実施となるようにしたい。 ・学年・教科と連携し、模試の効果的実施と課外の充実について、継続して検討していきたい。
	情報の共有	<ul style="list-style-type: none"> ・本校キャリア教育のスタイル確立に向けて、キャリアデザイン等の実践を全年次で共有し、効果的な工夫・改善を図る。 ・模擬試験の全年次定期実施により、学校全体としてのデータの蓄積を図る。 ・受験報告書や入試情報の分析を積極的におこない、進路指導に反映させる。 ・ジョブサポーターやハローワークとの連携を密にとり、タイムリーな求人情報を得る。さらに、この情報を生徒や保護者へ速やかに提供する。 ・進路の手引きの活用や進路だよりの発行を通して、生徒及び保護者への情報提供を行う。 	B		
	環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ・進路資料室を整備し、生徒がより一層自主学習に取り組める環境づくりをする。 ・進路に関する文献やDVD等の充実を図る。 	A		

生徒指導	規範意識の高揚と基本的生活習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶, 礼儀, 言葉遣い等を中心に, マナー全般の向上を図るための指導を継続する。 ・服装頭髪指導の徹底を図る。 ・遅刻の減少を図る。(目標達成率=登校生徒の5%未満) ・さわやかマナーアップ運動の推進。(制服の着こなしの徹底を図る。) 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての項目において継続的な指導が必要である。 ・各種講演会は, 年に数回実施することにより大きな学習効果が見込めるので今後も企画していきたい。
	問題行動及び非行化の未然防止	<ul style="list-style-type: none"> ・教員と保護者間の緊密な連携と情報の交換, 把握を徹底する。 ・校舎内外及び学校近隣地域の巡回指導の徹底を図る。 ・教員間での公平, 公正な指導と共通理解の徹底を図る。 	B		
	交通事故の未然防止	<ul style="list-style-type: none"> ・巡視及び立哨指導, 保護者との情報交換による事故及び防犯に関する確認事項の徹底を図る。 ・交通安全講話を実施する。 ・交通安全及び交通法規, ルールやマナーに関する意識の高揚を図るため, ホームルームその他の機会を設定する。 	A		
	自己の安全や健康に関する意識の高揚	<ul style="list-style-type: none"> ・喫煙禁止及び薬物乱用防止については, 講演会の開催などにより指導の徹底を図る。 ・携帯電話やスマートフォンの適切な利用に関して, 家庭でのルール作りを推進し, 年に2回の公演会を開催し, 指導の充実, 徹底を図る。 ・集団生活における自己の役割と責任を自覚させる。 	A		
特別活動	生徒会活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒総会やクラスマッチなどの学校行事において, 自主的・自発的な行動を促す。また, 生徒が主体的に企画・運営できるよう指導する。 	A	B	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動活性化に向けて, 中学校と連携し強化を図る。 ・一つ一つの行事を充実させるために, 行事の精選を行う。 ・茨東祭(文化祭)に向け, 早期に企画し, 準備を始める。 ・計画的なホームルーム活動となるよう, 各担任と連携する。
	部活動の奨励と活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・体験入部・仮入部を充実させ, 部活動加入生徒の拡大を図る。 ・部活動指導を充実させ, 運動部・文化部・同好会の活性化を図る。 ・部活動掲示板などを利用し, 部活動の活動状況・活躍を全校生徒に向けアピールする。 	B		
	ホームルーム活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームルーム役員の積極的な活動を促す。また, ホームルーム活動資料の活用を図る。(道徳教育の充実, 東日本大震災を踏まえた安全教育・体験活動, ケータイ・スマホ利用について) ・好ましい人間関係の構築やこころの教育の推進とボランティア活動をととして, 奉仕の精神を養う。 	B		
	学校行事への積極的に参加する態度の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・各ホームルーム役員や各種常任委員会の役員として, クラスマッチなどの学校行事へ積極的に参加する態度を養う。また, 生徒会新聞を活用した広報活動の充実を図る。 ・地域との交流行事やボランティア活動などに積極的に参加し, 地域の一員としての自覚が持てるように指導する。 	A		
図書・視聴覚	図書館の整備及び図書館利用率の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・書籍や図書資料を充実させ生徒の図書館利用率の向上を図る。 	A	B	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館の整備を行い, 利用率の向上を図る。 ・委員会活動の充実し, 自主的な活動の支援に努める。 ・昼休みの放送の定期的な実施を実現する。 ・放送室及び視聴覚準備室の環境整備に努める。
	生徒図書委員研修会指導	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会への参加, 出前講座受講などの校外活動を通し, 図書館利用マナーの意識の向上を図る。生徒作成による図書館だよりの発行を定期的に行う。 	B		
	各行事・昼の放送の主体的活動の実践	<ul style="list-style-type: none"> ・放送委員会の指導を通し, マラソン大会やクラスマッチ等の行事における放送設備の準備を計画的に行う。また, 昼休み校内放送の内容充実を目指す。 	B		
	放送室及び視聴覚室の環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ・備品管理に努め, 使いやすい放送室及び視聴覚室の管理に努める。 	A		

渉外	保護者の学校行事への参加率の向上	・PTA役員を中心に保護者が学校に来校しやすい環境を整え、PTA総会をはじめとする学校行事に保護者に積極的に参加をしてもらう。そのためにホームページや緊急メール配信システムを利用し、保護者に周知徹底を図る。	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA総会等の行事への参加率の向上を図る。 ・40周年記念事業への取り組みを積極的に進める。
	情報の共有化	・行事ごとにデータを整理して体系化することにより、行事の円滑な運営を目指す。	B		
	後援会の活性化	・40周年の式典事業に関し、後援会と連絡を密にして式典を成功させる準備を行う。	B		
保健厚生	清掃の徹底と環境整備の充実	・年間計画に基づいて定期検査及び日常点検を実施し、学習環境の充実を図る。 ・毎日の清掃、一斉清掃の徹底を図る。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学習環境の整備を心掛け、清掃を今後も徹底する必要がある。 ・保健厚生関係の行事を早期に計画する必要がある。 ・災害時の避難所指定に対するマニュアル化を図る。
	生徒の心身の健康管理の充実	・健康診断・各種検診の実施と事後指導の徹底を図る。 ・生徒の健康維持のために担任・保護者・学校医との連携を図る。	A		
	防犯・防災意識の高揚	・避難訓練を実施し、防犯・防災意識の高揚を図る。 ・不審者に迅速に対応する意識の高揚を図る。	A		
教育相談	教育相談活動の充実	・教職員、スクールカウンセラー、保護者と連携を図り、生徒への支援を行う。	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールカウンセラーの有効的活用を図る。 ・専門的な知識を深め、適切な支援を行う。 ・校内研修会の充実を図る。
	校外・校内における研修会の積極的な参加と実施	・校内において研修会を開きカウンセリングの様々な方法を学び、生徒一人ひとりの悩みや不安に対応する。 ・校外における研修会に積極的に参加する。	B		
1年次	基本的生活習慣の確立	・登校時刻・始業時刻・集合時刻を守るなど、時間厳守の意識を持つとともに、時間を意識した行動がとれるようにする。 ・制服着用の意味と高校生としてふさわしい頭髪・服装の在り方を自覚し、きちんとした制服の着こなしができるようにする。 ・集団生活を行う上で必要とされる基本的な要素、特に話を聞く姿勢を身に付けさせる。	C	B	<ul style="list-style-type: none"> ・「キャリアデザイン」をキャリア教育の時間として有効に活用するために、指導計画を綿密に立てる。指導計画に基づいて実践する。 ・服装頭髪の継続的な指導により指導の徹底を図る。 ・机及び私物の整頓、掲示物の整理等を徹底し、教室環境の整備を図る。 ・時間を意識した生活リズムの徹底、特にチャイムスタートを定着させる。 ・各種行事の増加が見込まれるため、先を見越した計画のもと、LHRや総合の時間の有効利用を図る。
	基礎学力の向上	・授業を大切に、落ち着いて授業に取り組む姿勢を身に付けさせる。 ・ベーシクトライを通して、基礎学力の向上を図る。	C		
	進路希望の実現	・キャリアデザインⅠを通して、社会人として必要とされる人間の資質とは何かを気付かせるとともに、それを身に付けようとする意識を持たせる。 ・進学希望者向け課外を計画的に行い、上位層の学力の伸長を図る。	B		
	部活動・特別活動への積極的参加	・部活動や特別活動への積極的な参加を奨励し、生徒一人一人が個性を發揮し活躍できる場を見つけさせる。	B		
	学校行事・校外活動への積極的参加	・学校行事の事前・事後指導を充実させ、生徒全員が学校行事に主体的に参加することができるようにする。 ・地域で行われる行事に対しても、本校の代表として参加できる生徒を育成する。	B		
2年次	基本的生活習慣の確立	・5分前行動の意識付けにより時間厳守を徹底し、学習の基本である登校時刻・始業時刻を守れるようにする。	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的生活習慣の確立という意味では特に服装が乱れている状況が改善に至らなかった。 ・基礎学力の向上はBTを中心に取り組む生徒と取り
		・制服の意味をよく理解し、高校生としてふさわしい頭髪・服装を自覚し、茨城東高生徒としての自覚を持った行動が取れるようにする。	C		

		・集団生活を行う上で必要とされる基本的事項(話を聞く姿勢など)を身に付けさせる。	B	
基礎学力の向上		・授業に取り組む姿勢を身に付けさせ、学習に集中して取り組ませる。	C	
		・ベーシックトライを通して、進路実現に必要な基礎学力の向上を図る。	B	
進路希望の実現		・進路ガイダンスやインターンシップを通して、自分の進路について考え、早い段階から行動を起こせるように準備をする。	B	
		・進学課外を充実させるとともに、校外講座に参加するなど多様な学習経験をさせる。	B	
		・夏休みなどの長期休業を利用し、オープンキャンパスなどに積極的に参加する。	B	
茨城東高校の一員としての自覚を持たせる		・学校行事の事前・事後指導を充実させ、全員が休まず学校行事に主体的に参加することができるようにする。	B	
		・地域で行われる行事においても、茨城東高校の代表として参加できる生徒を育成する。	B	
3年次	基本的生活習慣の確立(社会人になるにあたり)	・時間を守る(欠席・遅刻をしない)ことをはじめとし、当たり前なのが当たり前になるようにする。また、校内外問わず、服装・頭髪、言葉遣いなどのマナーを身に付けさせる。	B	B
	基礎学力の定着及び向上	・授業に臨む姿勢を振り返り、自分の進路を常に意識して取り組ませ、学力の定着及び向上を図る。	B	
	進路実現	・1,2年次で行った進路ガイダンス・学習会を振り返り、生徒一人一人の希望進路を実現するため進路指導部及び関係機関と連携して行う。	A	
		・進学希望者や公務員希望者への学習指導、就職希望者への面接指導・企業研究を積極的に進めていく。	A	
3年次としての自覚	・アクティブスクール4期生としてまた最高年次として、学校行事等で積極的に取り組み、下級生の見本となる。また、下級生を牽引する立場として最高年次であることの自覚を持たせる。	B		
事務	予算の適正な執行	・公金であるという認識のもと、コスト意識を持ちオープンカウンター等を活用しながら早期かつ効果的な執行に努める。	A	B
	施設設備の適正管理及び教育環境の整備	・定期的に校内巡視を実施し、校内危険箇所の早期発見及び早期改修の実施に努める。また、施設設備の整備・改修など、教育環境がより充実するよう努める。	B	
	省エネルギー・資源リサイクルの推進	・引き続き省エネルギー(節電・節水等)の推進に取り組み、使用量の削減に努める。特に電気料については、契約電力が前年度を上回らないように注意する。 ・廃棄物の分別を徹底し、焼却ゴミの排出量を削減する。また、グリーン購入法に適合した物品・コピー用紙等の購入により資源リサイクルを推進する。	A	
	窓口等での適切な接遇	・学校の第一印象は窓口業務にかかっているという自覚を持ち、来校者や電話での対応をより適切かつ丁寧に行うよう心がける。	A	

※ 評価基準 A：十分達成できている B：達成できている C：概ね達成できている D：不十分である E：できていない